

会 議 録

会 議 名	八王子市子ども・子育て支援審議会 第13回給付部会	
日 時	平成26年12月16日(火) 午後2時30分 ~3時20分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 第6委員会室	
出席者氏名	委 員	青木訓行部会長、池永文乃委員、内野彰裕委員、小林千里委員、塩澤伸久委員(部会長以下五十音順)
	関連所管	
	事務局	久間毅課長、志萱龍一郎課長、秋元政人主査、小池靖信主査、高野芳崇主査、國井益満主査 他
欠席者氏名	鍛冶礼子委員、柗澤章次委員	
議 題	報告事項 (1) 社会福祉審議会児童福祉専門分科会について (2) 保育施設の認可等に係る手続きについて (3) 教育・保育施設の利用定員について	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由		
傍聴人の数	なし	
配付資料名	○子どもに関する審議会一覧 ○八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会の委員構成について(案) ○施設・事業の分類及び認可について ○保育所等設置申請の流れ(案) ○平成27年度特定教育・保育施設・地域型保育利用定員一覧	
会議の内容	別紙のとおり	
会議録署名人	平成27年 3月26日 青木訓行	

【青木部会長】 それでは始めます。報告事項の社会福祉審議会児童福祉専門分科会について、事務局からお願いします。

【事務局】（資料「子どもに関する審議会一覧」、「八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会の委員構成について（案）」について説明）

どの委員の方が部会の委員になるかは、改めてお示ししたいと思っています。概ね半数の9人程度を想定して部会を運営できたらと思います。

現在の子ども・子育て支援審議会の委員の方につきましては、今の条例が今年度の3月31日をもって廃止になりますので、そこで終了という形になります。8月まで委嘱している期間につきましては、3月31日に短縮という形で、改めて委嘱状をお渡ししたいと思っています。

【青木部会長】 続きまして、保育施設の認可等に係る手続き、教育・保育施設の利用定員について事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】（資料「施設・事業の分類及び認可について」、「保育所等設置申請の流れ（案）」について説明）

（資料「平成27年度特定教育・保育施設・地域型保育利用定員一覧」について説明）

これにつきましては、27年4月の認可定員ということで、計画の中で位置付けることになります。今後さらに確認の申請が事業者から出てきた段階で、修正されていきます。

【青木部会長】 ありがとうございます。事務局から報告事項の1番から3番まで報告していただきました。

ご不明な点などありましたら受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

【池永委員】 区分のところで幼稚園という表記をしていますが、園を選ぶときにその園を知らない方々が、施設型給付の園であるかどうかわかりにくいと思います。表記の方法や区分の仕方をわかりやすくできないでしょうか。

【志萱保育幼稚園課長】 一般の方の申込みに関しては、広報の子ども・子育て支援特集号で、施設型給付に移行した園を紹介させていただきました。また、幼稚園の入園説明会で、私どもが同席いたしまして、説明をさせていただきました。また、保育所の入園のしおりにも、施設型給付の対象園ということで記載させていただいております。これからも、市民の方によりわかりやすい標記を工夫したいと思います。また、園のほうからも、入園の案内やホームページ等で公表するように案内していきたいと思っています。

【青木部会長】 他にご質問等はございますか。

【小林委員】表記の方法は、先ほど池永委員がおっしゃったように、複雑だと思います。どこがどのように違うのかといったことが、一般的には難しいと思います。保護者はすべての情報を一度にもらっても難しいので、ポイントをわかりやすく情報発信していただけたらと思います。

スマートフォンのアプリなどで、マップを開くとおすすめの保育所等が出るといったことがあれば便利ですね。1日かけて保育所等を回って行ける方はいいですが、なかなか時間をかけることができない方も多いです。特に、一人目の赤ちゃんの時はわからないことが多く、自ら外に出て探すことは難しいと思います。

【青木部会長】ぜひ、選ぶ立場から見てわかりやすい方法、仕組みをつくっていただきたいと思います。

【事務局】23区ですと、とある団体がオープンデータを活用して、23区の全保育園、幼稚園をデータ化したアプリを開発しています。例えば、自分の家から何分圏内と検索すると該当する施設が出てくるという仕組みがあります。ぜひ、八王子市でも同じようなものがないかと考えています。来年、再来年度に向け、その課題は解決していきたいと思います。

【青木部会長】多くの保護者の方は、ネットで調べたり、第三者評価を見たり、書き込みといったものも参考にしていますよね。

【池永委員】今回、八王子市でも小規模の保育が新たに始まりますが、認可定員を見ますと、0から2歳児まで全て4名の定員のところがあります。この場合、0歳児で入っておかないと、誰も辞めなければ途中入園ができないと、みなさん考えると思います。例えば2歳の定員が少しでも増えていれば、新たな子どもが入れるのだな、と思えますが、そうしないのはなぜでしょうか。

【久間保育対策課長】保育士の配置などを勘案して、とりあえずこのあたりで始めてみようという事業者の考えもあります。また、実際には、2歳は1年で転園しなくては行けないので、2歳から入ることはなかなかありません。

このような施設の卒園児は、公立保育園に入れるようにしたいと考えております。連携の保育園を設定して、保育の質も確保したいと思います。

【青木部会長】他に意見等はよろしいでしょうか。特になければ終了します。

それでは以上をもちまして、本日の給付部会を終了いたします。